

第25回能美市地域公共交通会議 議事概要

日 時：平成30年3月27日（火）午前10時～11時45分

場 所：能美市役所本庁舎 1階 大会議室

欠席者：東委員、森田委員、湯村委員（代理井口）、朝本委員（代理東）

1. 開会

2. 挨拶

（細川副市長）

- 年度末のお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本日の協議事項は、平成30年度当初予算に計上させていただいた、タクシー初乗り運賃分乗車券付き能美市コミュニティバス定期券の社会実験事業の実施についての協議をお願いするものです。

のみバスは、6台のバスで運行しており、1日約1,000kmを走っている。市長が参加しているタウンミーティングでも多くの意見が出ており、特に、のみバスの行き帰りの不便さについて要望を多くいただいております、これらを少しでも解消する事を目的に今回社会実験事業を実施させていただきたく考えております。

東洋経済の新聞では、両備バスが赤字路線を大量に廃線する。内部補助で、黒字路線から赤字路線へ収益を移転していたが、道路運送法の改正による規制緩和で、既存の事業者の収益を圧迫しており、維持できなくなっている。また、行政の地域公共交通による施策によっても、民間事業者を圧迫しているとも聞く。

来年度は、能美市において、公共交通の検討も行いたいと考えており、委員各位には、それぞれの専門の立場から忌憚のないご意見を頂戴したい。

（高山会長）

- 普段は、ほとんど車利用だが、年度末は公共交通を利用する機会も多い。昔は、森本（金沢）から、金沢の中心部に行く便が大変多くあったが、現在は北陸鉄道が1時間から1時間半に1本、JRバスが1時間に1本になっており、不便になってきている。つまり公共交通は、当たり前であるが、使わないと便が減っていく。（不便さが増す）

しかし、人間は勝手なもので、普段はバスを利用しなくても、いざ利用するときは、自分の都合に合わせてバスを欲しがります。能美市ののみバスの連携バスにおいても、1時間から1時間半に1便、循環バスは2時間から3時間に1本と大変便利が悪い。ただ、全くなくなると、大変な交通不便地帯になるが、一方、公共交通の費用負担を考えれば、なかなか大幅な便数増加も難しい中、今回のタクシー乗車券付きの定期券の取り組みは、費用負担等や利用者の視点からも良い制度であると考えます。

うまく定着するよう、地域みなさんに周知して欲しい。また、制度について、事務局から説明があるが、しっかりと審議して欲しい。

3. 委員紹介

4. 協議事項

【協議事項第 48 号】

- ・平成30年度（平成30年7月～平成31年3月）タクシー初乗り運賃分乗車券付き能美市コミュニティバス定期券（シニア、免許返納者）の社会実験事業の実施について（事務局より資料説明）

（田中委員）

- 料金体系の料金設定について、どういう根拠で設定したのか？

（事務局）

社会実験事業という事で、利用者の方に初乗り運賃分の3分の1を受益者負担という事で設定させていただいた。

（山本委員）

- 初乗り運賃でどれだけの距離を乗れるのか？

（事務局）

初乗りで、1.458kmである。

（山本委員）

初乗りだけでは、効果は疑問が残る

（事務局）

あくまで、のみバスの移動を補足する事業である。行き帰りの移動に対する効果は、社会実験事業の中でしっかり検証したい。

（猿谷委員）国土交通省

マイカーを手放したと考えれば、マイカーは年間数十万円からの費用負担になっていると思う。また、たとえば、身近なお子さんや、お孫さんに送迎をお願いした場合に、気持ちとして払っている厚意のお金を考えれば、そう負担が重いとも言い切れないのではないか。タクシーは、乗車が少なく事業者も減少している。マイカーの高い維持費と比較して、できればこの制度を利用していただきたい。

また、今回の事業者（8社）の営業所所在地もほとんど小松市になっている。（能美市は2営業所のみ）昔は、能美市にも旧3町にそれぞれ事業者があったが、現在はない。

また、よるタクシーを利用したくても、来ない地域も全国にはあり、公共交通を守る意味で是非タクシーも利用していただきたい。

（東方委員）

- 基本的に制度には賛成である。

シニアパス券の利用者の年間利用回数（のみバス）はどれくらいか？

(事務局)

昨年度の移動実態調査では、定期券利用者は年間250回程度の利用(平均)。

月20数回(月2千円~3千円 1乗車100円換算)

(東方委員)

- 免許証の返納者ののみバス定期券利用者がもっとシニアパス券を利用してもらえるようにしてほしい。また、シニアパス券の4千円の料金をもう少し考えて欲しい。

(大杉委員)

- 老人会を代表して、高齢者の移送について考えていただき感謝したい。
中山間地では、移動したくても閉じこもる高齢者も多い。老人会でも、外出や移送について考えてきたが、この制度も利用していただけるよう考えていきたい。

(高山会長)

- 免許返納者用の定期券運用方法について→6か月券を6回(計3年間)

協議事項について、承認(全会一致)

【その他】

・平成30年度 能美市公共交通検討事業について

(事務局より資料説明)

(高山会長)

- 高山会長より、来年度の能美市公共交通検討事業について、
 1. モビリティマネジメントの大切さ
 2. よりよい地域の公共交通の構築に向けて住民参画の大切さいろいろな地域で様々な取り組みがある。モビリティマネジメントというが、バスの路線等の知識がないなど、車利用が進むと、公共交通への関心が非常に低くなる。しかし、車ばかりでは、高齢化社会や、車に乗れない方も含め、移送や移動は成り立たない。公共交通は、利用しなければなくなってしまうという意識で、自分事になって考えていかなければならない。
委員各位より、ご意見を頂戴する。

(吉田委員)

- 自分の周りにも、公共交通が無ければならない高齢者も多い、自分事として、地域の高齢者等と話をしていけるようお手伝いをしたい。

(東方委員)

- 地域活動でも魅力創造について、町会町内会での活動があるが、言うは易く行うは難しで、難しい課題もたくさんあるが、こういうことを掲げていく事は大事である。また、公民館も日中は閉鎖しており、日中明けるとなると、誰かが管理しなければいけなくなり難しい。公共交通は、健康増進効果等の目的もあるが、有効的な仕組みをしっかりと考えなければと思う。

(山本委員)

- 辰口地区の町会代表として、中山間地の対応は難しいと考える。そこを議論していただければありがたい。

(大杉委員)

- 老人会としては、こうした検討は大変ありがたい。しかし、中山間地は高齢者割合も高く、家に閉じこもっている方も多いが、有効な手立てを考えていただきたい。

(田中委員)

- 乗車体験をやっていてびっくりした。こうした取り組みを周知して欲しい。自分の母も、高齢で免許証を返納できないでいるが、公共交通利用に転換できるようにするにはどうしたらよいか考えたい。

(新谷委員) 小松バス

- バス事業者として、最終的には多くの方の利用を目指していきたい。また、利用者の増加を叶える為、行政等と充分協議したい。

(茜委員) 加賀白山バス

- バス事業者として、こうした検討は大変ありがたい。いろいろと協力して参りたい。また、既存の公共交通の活用は是非お願いしたい。バス事業も人手不足、担い手不足があるので、既存の路線の活用については、しっかりと検討の参画したい。

(酒井委員) 大和タクシー

- タクシー事業者としても、しっかりと参画して参りたい。

(中村委員)

- P T A の代表として参加しているが、小中学生はもとより、学齢期の世代にもっと公共交通の大切さを訴えていきたいと考える。

(細川副市長)

- 地域公共交通は大事な社会インフラである。能美市でも、人手不足対策を1丁目1番地で行っている。

昨日の日経新聞でも、地域公共交通の人手不足が深刻であるという記事が掲載されている。

来年度検討を行うが、特効薬はないと考える。様々な社会実験を行い、P D C A を繰り返しながら、より良い方向へ改善していくことになる。

地域の方が、公共交通を利用しようという意識の醸成が大切である。行政もしっかりと参画していきたい。

(佐々木次長)

- 自助互助が大変大切である。地域で、健康な方が、交通弱者に対しどうすればよりよい移送の環境が築けるかが大事である。市も地域の自助互助の支援を来年度どうサポートするか考えていきたい。

(西村次長)

- 公共交通の担当部長として、しっかりと地域に合った移送手段や、利用方法をこれから検討していきたいと考えている。皆様のご協力を是非お願いしたい。

(東課長補佐)

- 道路管理の面からも、公共交通を利用しやすい環境を考えていきたい。

(本多委員)

- 能美市の公共交通は、J R 等との連携をにらんでいるが、鶴来駅等の有効活用を検討してはどうか。

(高山会長)

- 公共交通の検討にあつては、行政等だけでは、うまく再編できない。地域の方にいかに参画していただくか、自分事として考えれるかがカギになるので、そこをしっかりと事務局とも連携して、みなさんと考えていきたい。

5. 閉 会

(事務局)

- 平成30年度能美市公共交通ガイドのご案内（県補助を利用し作成）

- ・公共交通ガイドの特徴

これまでJRや民間路線バス、のみバスといった市内公共交通機関について、総合的な時刻ガイドや、運行情報を取り扱い、案内する情報媒体がありませんでしたが、今回これらを総合的に網羅した時刻ガイドを製作した点や、路線地図等をわかりやすくリニューアルした点、市内で公共交通を利用し、お買い物や消費をする大切さを解説した漫画の掲載、そして、お一人お一人が、よく使う公共交通機関の運行時刻をメモとして書き下ろし、自分だけのマイ時刻表を作成できるようなスペースも設けた点があり、市民の皆様により公共交通をご利用したいと思えるガイドとして、ご利用いただきたい。

これまでの、のみバスの時刻表に変わり、この公共交通ガイドを、のみバスを含めた新たな能美市の時刻ガイドとして、市民の皆様に広くご利用いただく予定。今月の全戸配布にて全世帯に配布を行う。

—以 上—